

半田市夜間景観にぎわい創出に向けた 街歩きワークショップ

グループワークのまとめ方法

【テーマ①】街歩きで発見した「良いと思った夜景」「もっとよくできると思った夜景」の共有

- ・写真係が撮影した写真から「良いと思った夜景」「もっとよくできると思った夜景」を一人1～2枚選ぶ。
- ・良いと思った理由、もっとよくできるポイントを付箋【青色 / 赤色】に書く。
- ・グループで出た意見を模造紙にまとめる。（意見の該当箇所がわかるように地図に貼る）

【テーマ②】夜間景観が整えられた際にどのようなことができるか（利活用や情報発信などのアイデア）の共有

- ・どんなことができるかのアイデアを各自付箋【黄色】に書く。
- ・グループで出た意見を模造紙にまとめる。（意見の該当箇所がわかるように地図に貼る）



発表方法

- ・発表時間 各チーム5分
- ・写真 説明箇所をプロジェクターで投影
- ・マップ まとめたマップを掲示

大きな地図に付箋で意見を貼り付ける

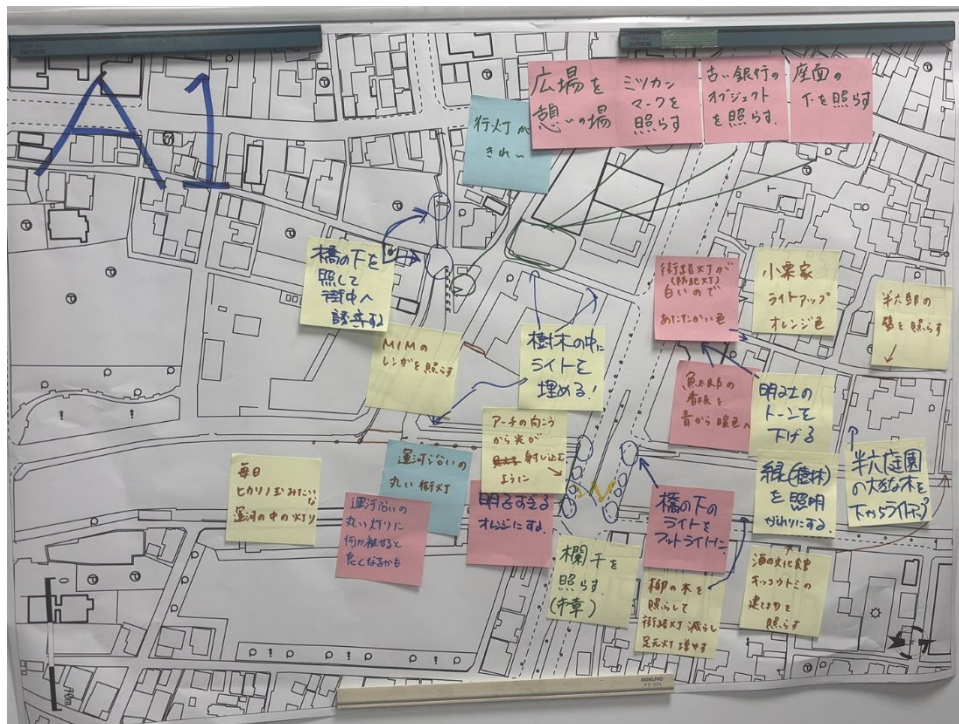
青色：良いと思った理由

赤色：もっとよくできると思った理由

黄色：夜にどんなことができるかアイデア

半田市夜間景観にぎわい創出に向けた 街歩きワークショップ

A1 チーム



・発表の内容

夜にどんなことができるかのアイデアが多く出ていた。

半六庭園やMIMの樹木やレンガ壁などの暗がりとなっている箇所を明るくライトアップしたい、という意見が出ていた一方で、川沿いは街路灯を消して柳のライトアップだけにして景観を整えたい、魚太郎の青色照明を減らしたい、などの照明の数を減らしたい意見などが挙げられた。

・グループワークで出た意見

【良いと思ったポイント】

- ・中村街園の行燈がきれい
- ・運河沿いの丸い街灯が良い

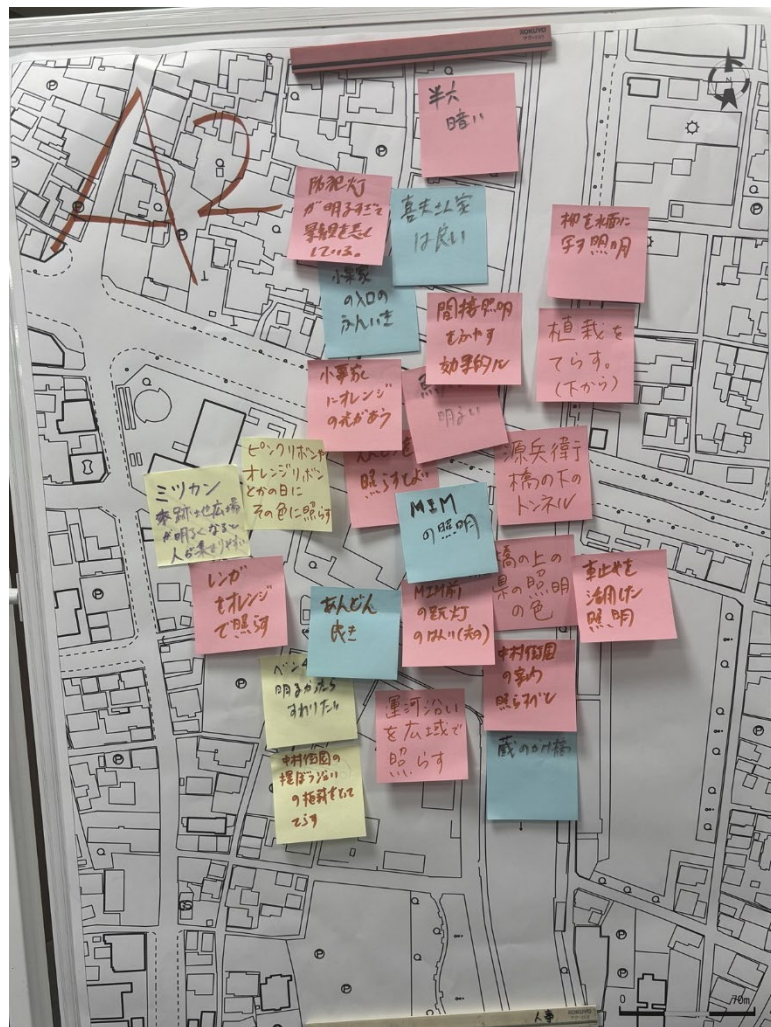
【もっとよくできると思ったポイント】

- ・広場を憩いの場に
- ・ミツカンマークを照らす
- ・古い銀行のオブジェクトを照らす
- ・座面の下を照らす
- ・街路灯（防犯灯）が白いので暖かい色に
- ・魚太郎の看板を青から暖色へ
- ・橋の下をライトをフットライトに
- ・（ポール灯が）明るすぎる、オレンジにする
- ・運河沿いの丸い灯りに何かかぶせるとよくなるかも

【夜にどんなことができるかアイデア】

- ・橋の下を照らして街中へ誘導する
- ・MIMのレンガを照らす
- ・毎日ヒカリの玉のような運河の中の灯り
- ・(MIM)樹木の中にライトを埋める
- ・(源兵衛)のアーチのむこうから光が差し込むように
- ・市章の欄干を照らす
- ・柳の木を照らして街路灯を減らし足元灯を増やす
- ・酒の文化館キッコウトミの建物を照らす
- ・半六庭園の大きな木を下からライトアップ
- ・樹木を照明代わりにする
- ・魚太郎の明るさのトーンをさげる
- ・小栗家をオレンジ色にライトアップ
- ・半六邸の壁を照らす

A2 チーム



・グループワークで出た意見

【良いと思ったポイント】

- ・喜夫さんの家は良い
- ・小栗家の入口の雰囲気
- ・MIMの照明
- ・行燈が良い
- ・蔵の架け橋

【夜にどんなことができるかアイデア】

- ・ミツカン跡地広場が明るくなると人が集まりやすい
- ・ピンクリボンやオレンジリボンの日にその色に照らす
(アウェアネスカラーで照らす)
- ・(中村街園の)ベンチが明るかったら座りたい
- ・中村街園の堤防沿いの植栽を照らす

・発表の内容

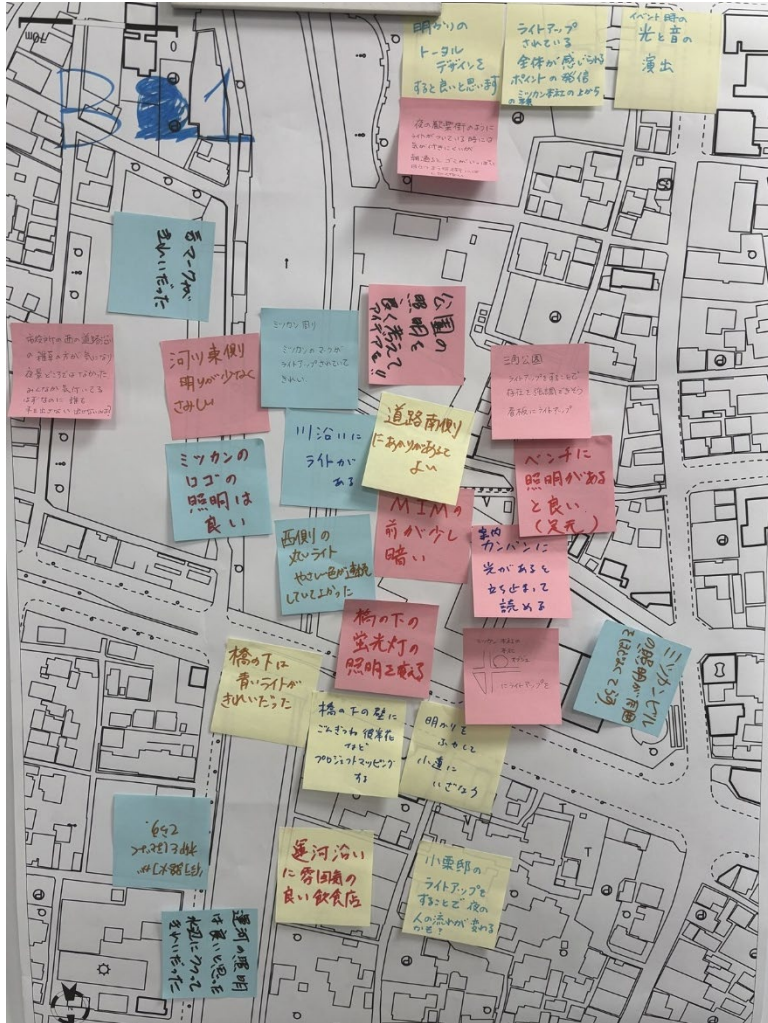
ミツカン広場はオブジェやベンチを照らすことで人が入りやすくなる、といった利用者目線の意見がいくつか見られた。また、防犯灯を人感センサーで消しておきたいという制御についての意見もあった。照明の色味についても活発な意見交換が行われていた。

【もっとよくできると思ったポイント】

- ・ 半六庭園が暗い
- ・ (下町通りの)防犯灯が明るすぎて景観を悪くしている
- ・ 柳を水面に写す照明
- ・ 植栽（柳）を下から照らす
- ・ 間接照明を効果的に増やす
- ・ 魚太郎の照明が明るい
- ・ 小栗家にオレンジの光が合う
- ・ 煙突を照らすとよい
- ・ 源兵衛橋の下のトンネル
- ・ 車止めを活用した照明
- ・ 橋の上の県の照明の色
- ・ MIM前の足元灯の光の範囲
- ・ (MIMの)レンガ壁をオレンジ色の照明で照らす
- ・ 運河沿いを広域で照らす
- ・ 中村街園の案内を照らすべき

半田市夜間景観にぎわい創出に向けた 街歩きワークショップ

B1 チーム



・グループワークで出た意見

【良いと思ったポイント】

- ・ミツカンマークがきれいだった
- ・ミツカン周りやミツカンのマークが
ライトアップされていて綺麗
- ・川沿いにライトがあること
- ・ミツカンのロゴの照明は良い
- ・（運河沿いの）西側の丸いライト
やさしい色が連続していてよかった
- ・ミツカンビルの照明が周囲を程よく照らす
- ・街路灯が柳をほどよく照らしている
- ・運河の照明は良いと思った。水辺に写って綺麗だった

【夜にどんなことができるかアイデア】

- ・明かりのトータルのデザインをするとよいと思う
- ・ライトアップされている全体が感じられる
ポイントの発信、ミツカン本社の上からの写真
- ・イベント時の光と音の演出
- ・道路南側に明かりがあるとよい
- ・橋の下は青いライトがきれいだった
- ・橋の下に壁にこんぎつねや彼岸花などプロジェクションマッピングする
- ・明かりを増やして小道にいざなう
- ・運河沿いに雰囲気の良い飲食店
- ・小栗邸のライトアップをすることで夜の人の流れが変わるかもしれない

・発表の内容

照明のみならず街のあり方についての意見も出ていた。

運河沿いの明るさが不十分で、安全面や防犯面の懸念があるとした上で、橋下をプロジェクションマッピングなどをして人が集まれる場所にできないかという意見も挙げられた。

【もっとよくできると思ったポイント】

- ・夜の歓楽街のようにライトが付いているときには
気が付きにくい朝通るとゴミがたくさん目立つ
ような街にはしたくない
- ・市役所の西の道路沿いの雑草の方が気になり、
夜景どころではなかった。みんなが気付いている
はずなのに誰も手を出さない、出せないのではない
- ・河川東側は明かりが少なく寂しい
- ・公園の照明をよく考えてアイデアを
- ・三角公園はライトアップすることで
存在を強調できそう、看板にライトアップ
- ・ベンチの足下に照明があるとよい
- ・MIMの前が少し暗い
- ・案内看板に光があると立ち止まって読める
- ・橋の下に蛍光灯の照明を変える
- ・ミツカン本社のオブジェをライトアップ

半田市夜間景観にぎわい創出に向けた 街歩きワークショップ

B2チーム



・グループワークで出た意見

【良いと思ったポイント】

- ・施設は充実している印象。あとは照明次第
- ・運河沿いのライトの色は落ち着ける色だった
- ・水面の光がゆらゆらしているのが好き
- ・欄干の柱、鉛直面への光軸
- ・商店街の街路灯が花の形をしていてかわいい。色も素敵
- ・灯籠型の照明が良い
- ・ベンチへの光の当て方
- ・照明がないので今からいろいろ試すことができる
- ・人道橋、間接照明の明るさがちょうどいい

【夜にどんなことができるかアイデア】

- ・煙突や建物を照らすときれい
- ・小栗家住宅の障子に人影が映ると風情が出る
- ・小栗家住宅にアップライトがあるとよい
- ・駐車場でイベントをして視覚の明るい道をつくる
- ・橋の裏に「天井画」と薄めにライトアップ
- ・橋の下にベンチがあると楽しいな
- ・市章を水面に映す
- ・道に間接照明をつける

・発表の内容

B2チームは、小栗家住宅などの既存の建物やMIMの煙突など街のモニュメントとなるようなものを照らしたいという意見が多かった。

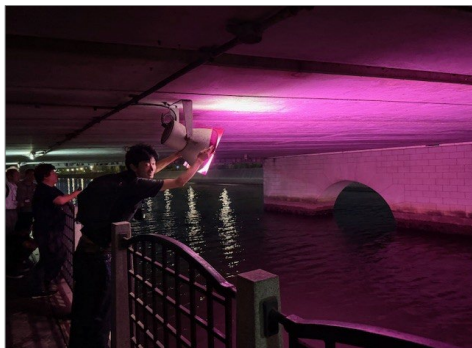
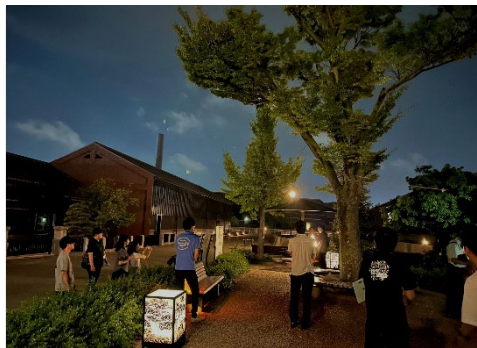
また、運河沿いには水面を照らしたり、水面に映り込む照明が欲しいという意見もあった。

【もっとよくできると思ったポイント】

- ・モニュメントを照らしていないことがもったいない
- ・建物や目先の上の建物などに当たる光が少ない
- ・（道路灯）LEDの光が強くてまぶしい
- ・（欄干）フェンスがデザイン的なのに照明がなくもったいない
- ・魚太郎看板が悪目立ちしている
- ・半六庭園が暗い
- ・なぞのスポットライト。写真を撮るとさらに謎
- ・橋の上の街路灯が明るすぎる
- ・対岸に目が行くような光が欲しい
- ・運河の輪郭がわからない
- ・柳暗い
- ・案内板に照明
- ・街園内に照明がなく安心して座れない
- ・防犯灯？まぶしい、悪目立ち

半田市夜間景観にぎわい創出に向けた 街歩きワークショップ まとめ

ワークショップの様子



ワークショップの総括

街歩きでは市民からの積極的な意見が見られ、活発なワークショップとなった。既存の夜間環境の課題として、観光資源となるランドマークが暗く沈んでしまっていることへの課題が多く挙げられた。実際に照明器具を持って実験を行ったことで、具体的なライトアップやプロジェクションマッピングなどの改善アイデアがあり、夜間に人が集まる場として利活用へ向けた意見もあった。

また既存の防犯灯や街路灯、店舗の明かりに対するまぶしさなどの軽減を求める意見もあり、局所的な改善にとどまらず、街全体への照明意見も見られたことが特徴的なワークショップとなった。

実証実験に向けて

街歩きワークショップの結果より、下記についての課題が明確となった。

- ①観光資源となる施設やランドマークへ夜間照明の必要性
- ②夜間景観向上に伴う、夜間利活用
- ③既存の道路照明に対する光環境の改善

またワークショップ時の意見として、ミツカン施設や小栗家住宅などの民間施設への意見もあり、官民一体となった夜間景観の魅力向上を目指すことの重要性も確認された。ワークショップの意見やアイデアを踏まえ、実現性を考慮した上で実証実験に取り入れ検証を進めたいと考える。